

市民社会とソーシャル・イノベーション ——ソーシャル・ファイナンスの視点から——

2016年11月17日(木)
東アジア市民社会フォーラム

ソーシャル・ファイナンス研究会
代表 小林立明

1. ソーシャル・イノベーションとは何か

□ 基本定義

- ソーシャル・イノベーションとは、既存のソリューションより効果的に社会的ニーズを充足し、能力や関係性の改善を実現し、資産や資源の活用の向上をもたらす、新たなソリューション(製品、サービス、モデル、市場、プロセス等)である。

□ 中核的要素

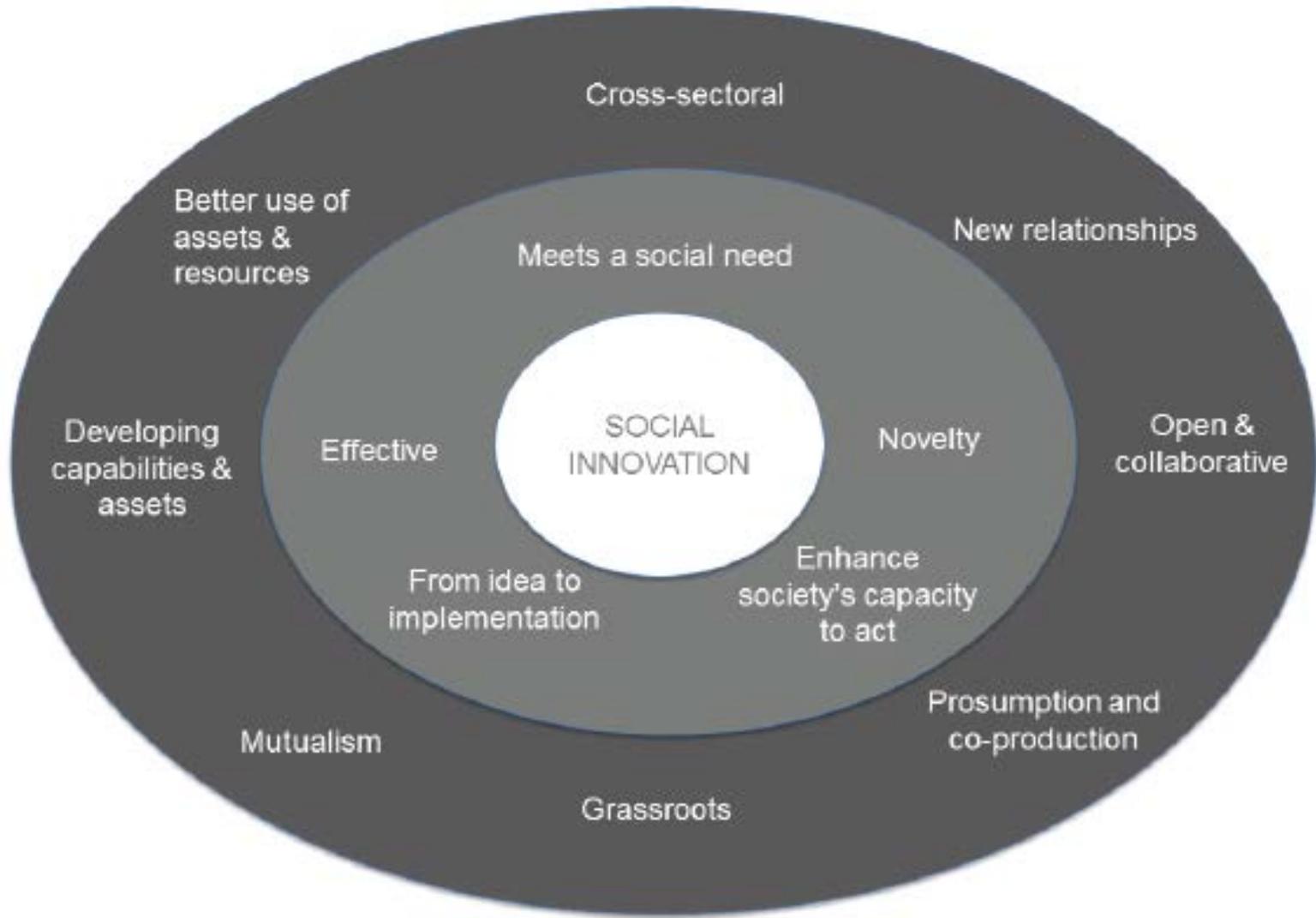
- 社会的ニーズの充足 (Meets a social need)
- 新しさ (Novelty)
- 社会の活動能力の強化 (Enhance society's capacity to act)
- アイディアを実践化 (From idea to implementation)
- 効果的 (Effective)

□ 共通特徴

分野横断的 (Cross-sectoral)	草の根 (Grassroots)
新たな関係性 (New relationship)	相互主義 (Mutualism)
開放性と協働 (Open & collaborative)	能力と資産の開発 (Developing capabilities & assets)
生産的消費と協同的生産 (Pro-sumption and co-production)	資産と資源の活用向上 (Better use of assets & resources)

1. ソーシャル・イノベーションとは何か(続き)

ソーシャル・イノベーションの中核要素と共通特徴



1. ソーシャル・イノベーションとは何か(続き)

□ 諸類型

類型	具体例
1. 新製品	障害者用に開発された介助テクノロジー
2. 新サービス	モバイル・バンキング
3. 新プロセス	クラウド・ソーシング
4. 新市場	フェア・トレードや時間貯蓄 (time banking)
5. 新プラットフォーム	介護のための新たな法規制枠組みやプラットフォーム
6. 新組織形態	コミュニティ利益会社 (Community interest companies)
7. 新ビジネスモデル	ソーシャル・フランチャイズ (Social franchising)

□ 担い手

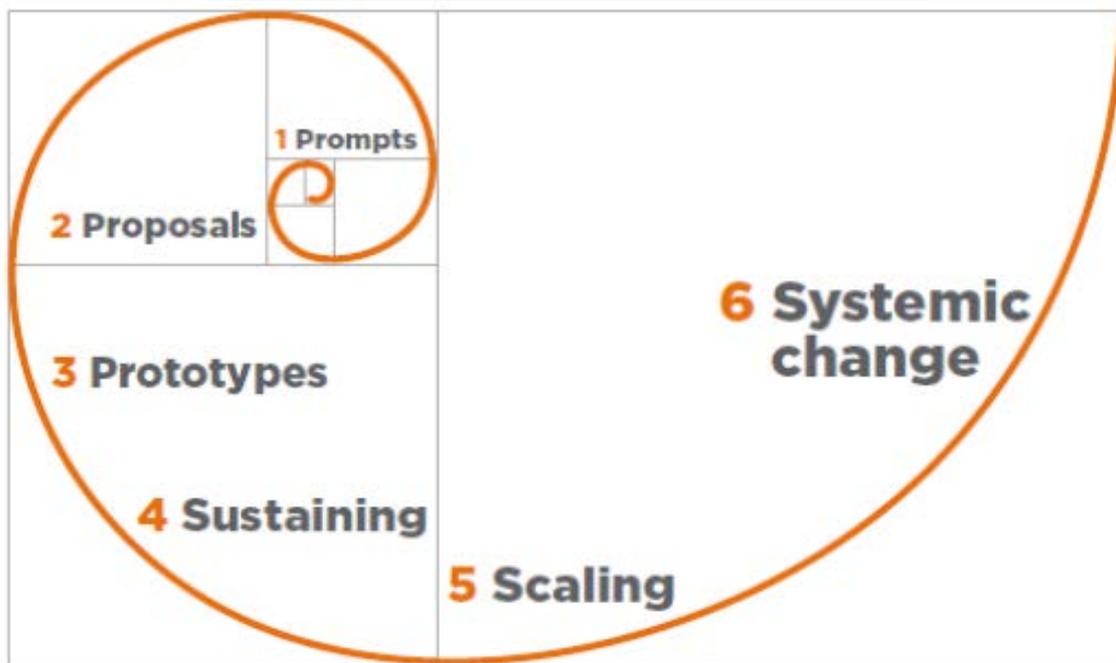
- 公共セクター: 政府・自治体・政府機関
 - 営利セクター: 企業CSR部門、社会的投資機関、ソーシャル・ビジネス
 - 非営利セクター: NPO、財団
 - インフォーマル・セクター: 個人、家族、コミュニティ
- ※非営利セクターが中心的な役割を果たすが、他のセクターも同様に重要

1. ソーシャル・イノベーションとは何か(続き)

□ プロセス

1. 契機	ソーシャル・イノベーションの必要性を浮かび上がらせる
2. 提案	新たなアイデアを発展させる
3. プロトタイプ化	アイデアを実地に検証する
4. 持続化	アイデアを日常的な実践にする
5. スケールアップ	ソーシャル・イノベーションを促進し、普及する
6. システム変化	包括的なシステムの再設計と導入。長期的には全セクターを巻き込む。

ソーシャル・イノベーションのプロセス



2. ソーシャル・イノベーションへのファイナンス

□ ソーシャル・イノベーションに求められるファイナンスの特性

- 高いリスク
既存システムの革新を目指すため、失敗のリスクは大きい
- セクターを超えた協働
ソーシャル・イノベーション自体が、セクターを超えた協働を目指すため、資金も、政府、企業、金融機関、財団などセクターを超えた資金を組み合わせる必要がある
- 長期的コミットメント
ソーシャル・イノベーションの実現には時間がかかるため、長期にわたるコミットが必要
- 非資金支援
事業化、スケールアップの際には、単に資金を提供するだけでなく、これを実現するための経営支援や技術支援が必要
- プロセス段階に応じた支援
ソーシャル・イノベーションの各プロセス段階の資金ニーズに応じた多様な支援が必要
- スケールアップ支援
従来の非営利セクターや市民社会とは異なる大規模なファイナンス手法が必要

新たなソーシャル・ファイナンスの構築が必要

2. ソーシャル・イノベーションへのファイナンス(続き)

□ ソーシャル・イノベーションの各プロセスに求められるファイナンス例

プロセス段階	求められるファイナンス例
1. 契機	<ul style="list-style-type: none">社会課題解決に向けた調査・研究費 (例)助成財団のグラント
2. 提案	<ul style="list-style-type: none">新たなテクノロジー開発に向けたR&D投資 (例)政府の大学向けイノベーション支援グラント
3. プロトタイプ化	<ul style="list-style-type: none">スタートアップ段階向けのインキュベーション支援 (例)自治体のインキュベーション支援 (例)クラウド・ファンディングを通じた資金調達
4. 持続化	<ul style="list-style-type: none">グロース段階向けの成長資本 (例)ベンチャー・フィランソロピーののキャパシティ・ビルディング支援
5. スケールアップ	<ul style="list-style-type: none">スケールアップのための各種ファイナンス (例)金融機関のローン (例)NPOによるチャリティ債の発行 (例)社会的企業向けの準株式を通じた支援 (例)ベンチャー・キャピタルによるソーシャル・ビジネス向けエクイティ資金
6. システム変化	<ul style="list-style-type: none">システム変化のためのソーシャル・ファイナンス市場 (例)社会的インパクト投資市場 (例)社会的証券取引所

※近年は、市民ファンドやクラウド・ファンディングなど草の根のソーシャル・ファイナンス手法も発展。

□ 発展するソーシャル・ファイナンス手法

	投資家・金融機関	財団・企業CSR部門	一般
Grant		<ul style="list-style-type: none"> ・ グラント 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄付 ・ クラウド・ファンディング (寄付型、購買型)
Debt	<ul style="list-style-type: none"> ・ ローン ・ 債券(NPO債、社債、私募債等) ・ 準株式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム関連投資 ・ ミッション関連投資 ・ (信用補完) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウド・ファンディング (ローン型) ・ コミュニティ証券 ・ 市民ファンド、疑似私募債
Equity	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式 ・ Joint Equity ・ Ethical Share 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラム関連投資 ・ ミッション関連投資 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラウド・ファンディング (エクイティ型) ・ コミュニティ・シェア
Structured Finance	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同ファンディング(通常は、優先部分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同ファンディング(通常は、劣後部分やグラント) 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的インパクト債(通常は優先部分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的インパクト債(通常は、劣後部分やグラント) ・ 社会的責任調達 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソーシャル・バンク、連帯金融、協同金融、NPOバンク等を通じた資金提供 ・ 倫理的購入

➤ その他の手法

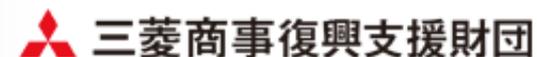
- ・ ESOP(従業員持ち株プラン)
- ・ マイクロファイナンスと金融包摂
- ・ 流通市場と証券化
- ・ 倫理的不動産取引

➤ 政府の手法

- ・ 政府金融機関や政府設立ファンドを通じた支援
- ・ 社会的価値法に基づく公共調達を通じた支援
- ・ コミュニティ開発金融機関制度の整備を通じた支援
- ・ 社会的インパクト債の組成 等

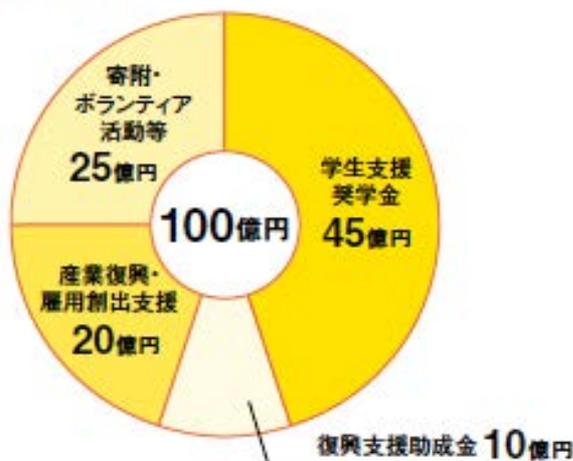
3. 日本における実践例

(1) 三菱商事復興支援財団

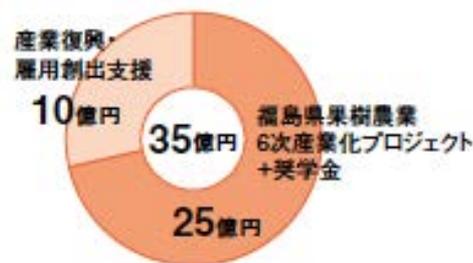


- 2012年3月、東日本大震災発生から1年を契機に設立された公益財団法人。
- 「東日本大震災において被災した地域の復興に寄与すること」を目的に、(1)奨学金の給付、(2)団体(NPO法人や社会福祉法人等)に対する助成金の給付、(3)その他産業振興・雇用創出等に資する事業を行う。
- 社会的投資事業は、(3)その他事業。被災地の産業復興・雇用創出を目的に、被災地で活動する金融機関やNPOなどを中心に事業を募集し、事業再建や起業に対する資金を提供。
- 2015年3月31日現在、正味財産は24.8億円。うち、出資金が17.9億円、長期貸付金が1.5億円。
- 2012年度は14件8億2200万円、2013年度は17件7億1000万円、2014年度は13件4億6400万円をそれぞれ出資。

三菱商事 東日本大震災 復興支援基金
(2011~2014年度)

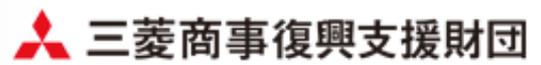


三菱商事復興支援財団
(2015年度~)



3. 日本における実践例(続き)

(1) 三菱商事復興支援財団



産業復興・雇用創出事業

- 投資先は、株式会社、有限会社、農業生産法人、合同会社、社会福祉法人、一般社団法人など多様。
- 気仙沼きぼう基金を設立し、基金を通じて気仙沼の事業者に対する資金提供も行う。
- 社会的投資にあたっては、地元の信用金庫や信用組合と協力。



3. 日本における実践例(続き)

(2) 京都地域創造基金



- 2009年に設立された公益財団法人。京都NPOセンターの10周年記念事業として、(1)公益活動を支援したい人々と公益活動を推進する団体の間の資源の仲介と、(2)社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みの構築とを通じて、持続可能で豊かな地域社会の創造と発展に資することを目的に設立された。
- 2014年3月31日現在、正味財産は332万円(負債及び正味財産の合計は2,012万円)。主な収入源は行政の受託事業、補助金、寄附金等で、経常収益は5,950万円。
- コミュニティ財団として、一般からの寄附金を募り、様々な助成事業を行う他、特定寄附信託や冠基金の運営などを行っている。社会的投資としては、2013年6月から「きょうとNPO支援連携融資制度」を創設し、NPOへの融資に対する支援を行っている。



3. 日本における実践例(続き)

(2) 京都地域創造基金



主要助成先団体

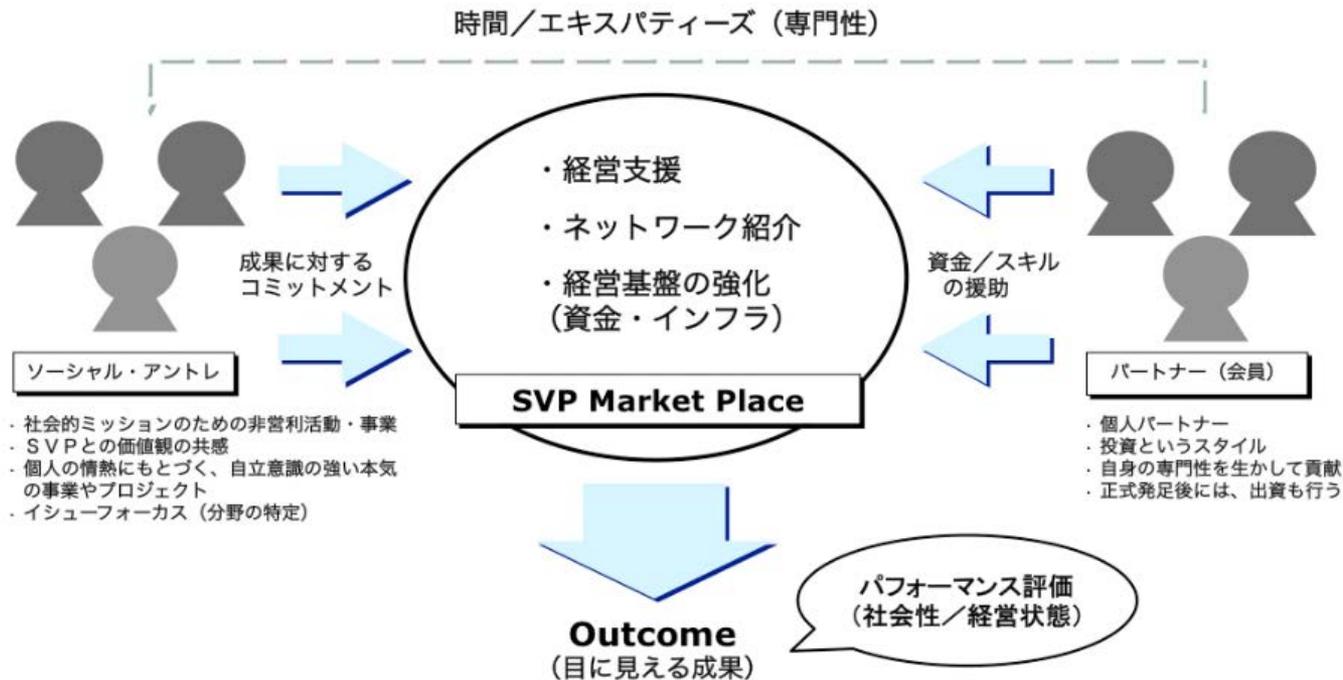
きょうとNPO支援連携融資制度

- ❑ 京都地域創造基金が、京都府・京都市、京都信用金庫、京都北部信用金庫、京都銀行、京都中央信用金庫との協働で実施する融資制度。
- ❑ 担保不要、300万円まで無利子、300万円から500万円までは実質金利年1%。返済期間は5年以内。(年2.0%の固定金利だが、基金が利子分を助成)
- ❑ 対象は京都府内に事務所を持ち、京都府内で公益活動を行うNPO法人。
- ❑ 京都地域創造基金が融資申請事業の公益性を審査した後に、金融機関が融資審査を実施。融資実行後、京都地域創造基金が支払い利子分をもとに助成。
- ❑ 資金は、京都府及び京都市の補助金で賄う。

森と農園のある暮らし	地域若者サポートステーション事業 (500万円)
南山城V Power Station	自然の家の運営他 (300万円)
子育て支援コミュニティおふいすパワーアップ	子育て情報誌発行、サイト運営他 (400万円)
市民共同発電をひろげる城陽の会	再生可能エネルギーによる発電事業 (30万8千円)
芽吹	通所介護事業及び居宅介護支援事業 (500万円)
にっこり	障害者生活支援事業 (500万円)
きものアルチザン京都	きもの文化振興事業 (300万円)
オーガニック土の塾	休耕地で農業塾運営 (200万円)
京都女性起業家協議会	ソーシャル・ビジネス応援プラットフォーム事業他 (500万円)
パンゲア	多言語コミュニケーションの改善検証のフィールド調査 (500万円)

(3) ソーシャル・ベンチャー・パートナーズ東京

- 2003年に任意組合として設立。合同会社を経て、2012年より特定非営利活動法人として活動。社会的な課題の解決に取り組む革新的な事業に対して、資金提供とパートナーによる経営支援を組み合わせる「ベンチャー・フィランソロピー」手法を通じた支援を行っている。
- 2014年度の正味財産額は2,020万円。主な収入源は、会員からの会費、寄付金、事業収益等で2014年度の経常収益は2,267万円。この収入に基づき、2014年度は、656万円を助成。



3. 日本における実践例(続き)



(3) ソーシャル・ベンチャー・パートナーズ東京

SVP東京の投資事業

□ 年間100万円を限度とした資金提供

□ 経営支援

1. 経営戦略全般
2. ファイナンス
3. 資金調達や事業収入の開発
4. マーケティング・商品開発
5. 理事会やガバナンス
6. 情報技術(IT)
7. 事業評価と成果管理
8. スケールアップ 等

SVP東京の選考基準

□ 起業家精神

□ 事業モデル

□ 共感性

□ 社会的インパクト

□ SVPとのマッチング

投資先団体例

Coaido株式会社	心停止者の救命のための市民救援システムの構築
株式会社AsMama	「子育てシェア(無料、保険付)」を可能にするオンラインシステムの構築
株式会社リリムジカ	音楽を通じた被介護者の支援。
特定非営利活動法人キズキ	高校中退・引きこもりを経験した若者に対する学習支援
特定非営利活動法人クロスフィールズ	企業・行政から新興国への「留職」プログラムの運営
特定非営利活動法人カタリバ	大学生ボランティアを活用した高校生向けの動機付けキャリア教育プログラム
特定非営利活動法人マドレボニータ	「産後のボディケア&フィットネス」プログラムを通じた産後の母体ケア



(4) 太陽光発電所ネットワーク(PV-Net)

- 2003年に設立された特定非営利活動法人。日本全国約2,600名の太陽光発電設置者のネットワークとして、メンバー間の交流や太陽光発電環境充実のための活動を行っている。
- 2012年に、「PV-Net市民ファンドサポートセンター」を立ち上げ、全国各地の市民共同発電所の設立を支援している。サポートの内容は、市民共同発電所建設・運営に関するコンサルティングから、資金調達、部材調達、システム設計サポートなど多岐にわたる。
- 特に、第二種金融取引業者と提携し、市民共同発電所設立のための匿名組合形式による市民ファンドの組成を支援している点に特徴がある。これにより、コミュニティの住民が、自分たちで資金を出し合って発電所を建設することが可能になる。

プロジェクト一覧

発電所名	設備容量
野田村だらすこ市民共同発電所	48kW
大沢大規模太陽光発電所	1646kW
伊豆の国電気の畑	55kW
小諸エコビレッジ市民共同発電所	13.4kW
恵那山おひさま発電所	48kW

(5) 西武信用金庫ソーシャルビジネス成長応援融資「CHANGE」

- 西武信用金庫が、日本財団、ETIC.の協力を得て、同金庫の営業地区内で事業を営んでいるソーシャル・ビジネスに対して実施している融資プログラム。
- 日本財団の支援により、社会性を判断して融資を決定し、低金利で貸出を行う。
- ETIC.の協力を得て「成長応援プログラム」として、経営相談や各種セミナー、若手人材の活用支援など融資先の事業成長に対する支援もあわせて実施している。

融資決定実績(2016年5月末現在)

分野	実績
福祉・医療	7件 34,600千円
文化・伝統	5件 18,200千円
教育	10件 41,900千円
子育て	9件 53,900千円
その他	11件 92,950千円
合計	42件 241,550千円

(5) 西武信用金庫ソーシャルビジネス成長応援融資「CHANGE」

概要

□ 事業成長応援コース

- ・ 創業期のソーシャル・ビジネス対象
- ・ 融資金額500万円以内(固定金利年0.1%)
- ・ 事業の実現可能性と成長可能性を評価
- ・ 運転資金または設備資金
- ・ 担保不要

□ 社会変革応援コース

- ・ 拡大・成長期のソーシャル・ビジネス対象
- ・ 事業の実績、成長可能性、社会的インパクト創出の可能性を評価
- ・ 融資金額5,000万円以内(固定金利年1.0%)
- ・ 運転資金または設備資金
- ・ 担保不要

融資先団体例

株式会社Kaizen	発達障害者に特化した就職支援
株式会社KARAFURU	日本の伝統工芸の技を維持・継承するため、伝統工芸を活用したブランド製品を企画・生産・販売
株式会社ケアプロ	500円でセルフ健康チェックが出来るワンコイン健診の普及を通じて予防医療を推進。
NPO法人ベジライフ協会	ベジライフ(菜食)普及のための人材養成、料理教室、カフェやレストランへのベジメニュー提案等
認定NPO法人育て上げネット	孤立無業の若者の就労を支援するため、就労訓練や教育、母親へのサポートを行う。
非営利型株式会社ポラリス	「身近な地域の中で、自分の暮らしの中で、心地よく暮らし、はたらく」ことを実現するための研修や企画
NPO法人ゆるら	IPS(Individual Placement and Support)手法による精神疾患・精神障害を抱える方の就労支援

参考文献

- ❑ Alex Nicholls et al eds. (2015) “Social Finance” (Oxford University Press, UK)
- ❑ European Commission (2013) “Guide to Social Innovation” (European Commission, Belgium)
- ❑ Geoff Mulgan et al. (2007) “Social Innovation: What it is, why it matters and how it can be accelerated.” (Oxford University SAID Business School, UK)
- ❑ Lester M. Salamon ed. (2014) “New Frontiers of Philanthropy: A Guide to New Tools and Actors Reshaping Global Philanthropy and Social Investing” (Oxford University Press, UK)
- ❑ Luciano Balbo et al. (2016) “A Practical Guide to Venture Philanthropy and Social Impact Investment” (European Venture Philanthropy Association)
- ❑ Social Innovation Europe (2012) “Financing Social Impact: Funding social innovation in Europe – mapping the way forward” (European Commission, Belgium)
- ❑ The Young Foundation (2012) “Social Innovation Overview: A deliverable of the project.” (TEPSIE)